

8月号 西水沼駐在所だより

西水沼駐在所
028-662-9125

夏季期間における水難事故防止



夏の暑い時期は水に親しむ機会が増えるため、河川での魚とり、釣り中や水遊び中の事故が多発する傾向にあります。

河川は、上流で大雨が降ると、晴れている下流で急激に増水することがあります。積乱雲が見える、雷鳴が聞こえる場合などは、気象情報などを確認し、付近の天気や川の水位に注意しましょう。

～水難事故を防止するポイント～

- 水難事故は目を離した一瞬の隙に発生しています。小学生以下のお子様と行く際には常に目を放さないようにしましょう。
- 体調が優れない時に川に入るのは控えましょう。
- 魚とりや釣りをする方は、ライフジャケット、川釣り様の滑りにくい靴等を着用し、もしも危険が迫った際には釣り竿は手放し、命を守ることを最優先に行動しましょう。
- アルコールを摂取した際には、川には入らないようにしましょう。

夏季期間における山岳遭難防止

○ 令和6年中の山岳遭難発生状況

令和6年度夏季(7月～8月)全国の発生状況は、

発生件数	660件
遭難者	736人
死者・行方不明者	52人

となっています。

令和6年度の夏期(7月～8月)栃木県の発生状況は、

発生件数	8件
遭難者	8人
死者・行方不明者	0人

となっており、令和3年以降、夏期における全国の山岳遭難発生状況は発生件数及び遭難者数ともにおおよそ増加傾向にあります。

○ 夏山登山における遭難の特徴

夏山での遭難は、軽装で入山する方が増加するため、滑落や転倒をした際に大きな怪我につながる、急な雨で体が冷えて低体温症になる、気温の上昇により熱中症になるなどのケースが増加します。

○ 夏山登山における注意点

- 単独登山は控え、複数人で登山をしましょう。
- 目的地に着かなくても、日没までに下山できるように引き返しましょう。
- 登山中は、火気の取扱いにも十分注意しましょう。

